

The Heart Times

医療法人社団慈弘会

内科・循環器 ハートサウンズ

もり♡クリニック

〒080-0028

帯広市西18条南3丁目1-21

TEL 0155-58-5077

http://www.jikoukai.org/



シリーズ 第13弾

逢いたい人



大樹町尾田在住
堀川 義延さん(91歳)
シゲ子さん(85歳)

「今、私達夫婦が元気でいられるのは、森先生のおかげなんだわ」と、笑顔でインタビュに答えてくださった大樹町尾田にお住いの堀川義延さん(九十一歳)、シゲ子さん(八十五歳)。
かつては農業を営んでいました。人生の節目で、共に心臓の病気を患い、その度に家族に支えられました。現在は病気を克服し、仲良く元氣にお暮らしです。【夫婦の愛】【家族の絆】の物語をとうきびの収穫をお手伝いしながら教えていただきました。

『懐かしきあのころ』

ご主人の義延さんは大樹町出身。「子どもの頃は、物静かで大人しかったけど、馬(農耕馬)に乗る事が好きでね。地域のお祭りで開催される【草競馬】には毎年出ていたんだよ」と、照れながらお話しをしてくれました。
奥様のシゲ子さんは中札内村出身。「子どもの頃は、山育ちのお転婆で、冬はね、雪山にジャンプ台を作って、そこを滑って飛び跳ねていたんだよ」と、身ぶり手ぶりで語ってくれました。

『家族の誕生、巣立ち』

昭和三十年、運命の出逢い、ご結婚。二男一女のお子様にも恵まれました。やがて三人のお子様はそれぞれご実家を離れそれぞれの道へ進み、これからは夫婦二人で仲良く人生を歩もうと：

『結婚四十年、その時、妻が…』

平成七年、シゲ子さん六十五歳の時、強い

発作にみまわれ、大樹町立病院を受診。その時診察されたのが森先生でした。入院し、検査の結果「発作性上室性頻拍(注①)」との診断。
当時、道東ではこの病気の治療が出来ず、北大病院に転院。「ちょうどその時、次男が北大の研究室にいたの。いろんな検査と手術、四十二日間という長い入院生活だったから、毎日見舞いに来て安心させてくれて、身の回りの世話も一生懸命してくれました」

『結婚六十年目のダイヤモンド婚式、その時、夫が…』

平成二十六年六月二十六日の朝、いつも元氣にお仕事をされていた義延さんが、胸が苦しいと不調を訴えられました。帯広の病院へとも考えましたが、シゲ子さんの頭には、森先生の顔が思い浮かび、森クリニックを受診。ちょうどその日は、森先生の診察日、約二十年ぶりの再会です。検査をして、翌日の六月二十七日には、提携先の札幌心臓血管クリニックの送迎で受診。検査の結果「発作性心房粗動(注②)」と診断され、七月一日に「カテーテル治療(注③)」をし、七月三日に大樹に帰ってこられました。「長男が札幌にいてさ、俺が札幌の病院に入院している間、ずっと付き添って安心させてくれたんだよ。でも秋田に転勤する直前だったのさ、そして、俺が大樹に帰ると同時に秋田に行ったんだ」

『家族愛・子どもたちへの感謝』

「二人とも、同じカテーテルの手術をし、その時必ず子どもが傍らにいたんだよ。心強かったよ。何か通じるものがあったのかな?術後は、いたって順調だよ。でもね、私(シゲ子さん)が病気をしていたから、農業の方も少しずつ減らしていったんだ。今は、自分たちが、食べる分くらいは、今やっているんだ」

「長男が、札幌に家を建てたのさ。俺たちの部屋も作ったから一緒に住もうと言ってくれるんだけど友達もいるし、まだ世話になるつもりはないんだ」

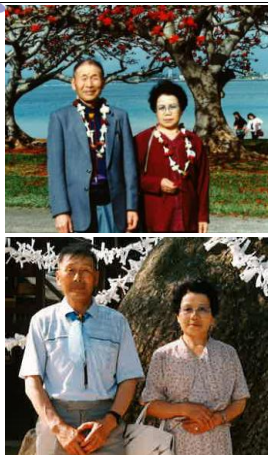
『「夫婦の今後の楽しみは…』

現在、義延さんは写真、シゲ子さんはドライフラワー作りを趣味とされています。そして畑仕事、パークゴルフ、旅行などお二人一緒にお忙しい日々を送られています。
今後義延さんは旅行をしながら四季折々の風景写真を撮りたいと、シゲ子さんは昔着ていた服をリフォームしてみたいとおっしゃっています。
そして何より楽しみなのが、「一歳になったばかりのひ孫と遊ぶことなのよ」と目を細めていました。

『地域包括ケアシステムの構築を目指して』

堀川様ご夫婦がいつまでも住み慣れた大樹で元気に過ごしていただけるよう森クリニックもお手伝いさせていただけます。その取り組みの一つとして体操教室・ジョギング・フィットがあります。
私たち慈弘会は住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される社会の実現を目指し、積極的に取り組んでいきます。

『旅先の思い出のひとつ』



注①一分間に一五〇〜二〇〇回の頻度で、突然、心拍数が速くなり、動悸を感じる不整脈の一種
注②一分間に二四〇〜四五〇回の頻度で、心房が興奮し、突然起こる不整脈の一種
注③カテーテルと呼ばれる細い管状の器具を血管から挿入して行う不整脈の治療

あとがき

朝晩、冷え込むようになってきましたね。生活リズムが変化し、体調も崩しやすい時期です。
そしてインフルエンザの話です。重篤化を防ぐために次の予防法を生活に取り入れてください。
①十分な睡眠・食事栄養 ②外出後の手洗い・うがい
③咳エチケット(マスク着用) ④インフルエンザワクチン接種

新聞やニュース報道にもありますが、今季からインフルエンザワクチン株が3価から4価になり、薬剤自体の価格がおよそ2倍にはなっています。市町村ごとに助成事業がありますので、助成期間や接種価格は院内掲示にてご確認ください。ワクチンの予約受付中です。